

平成26年度 県立名護商工高等学校学校評価（自己評価・学校関係者評価）

No.1

1 教育目標	(1) すぐれた知性の育成（知育） (2) ゆたかな心の育成（徳育） (3) たくましい体の育成（体育）
2 学校経営方針	(1) 活力ある校風の樹立 (2) 協力体制の確立と効率的運営 (3) 豊かな人間性と個性の伸長を図り、心身共に健康で逞しく生きる生徒の育成 (4) 家庭・地域社会との連携 (5) 教育情報化の推進 (6) ものづくりや資格・検定の取り組みの奨励

評価項目	具体的な目標	具体的方策	自己評価		平成26年度の課題等	学校関係者評価 (一つに○印) △は次点	学校関係者からの次年度に向けての要望等
			中 間	年 間			
1 学校の教育目標 教育計画・学校 運営	学校の目標を具体的に説明し、地域・父母・学校一体となった学校づくりに努める	(1) 本校の教育方針はわかりやすく伝わっている	B	B	・行事案内を多くの団体へ呼びかけてみてはどうでしょう。 老人会、婦人会、成人会、青年会、e t c。	A (B) C D	・パンフレットが参考になります、方針を伝える手掛かりに役立てるように ・地域のソフトボール大会での学校施設使用など、地域としても今後も活用が図れるようお願いしたい
		(2) 生徒の成績評価方法がわかりやすく説明されている	B	B		A (B) C D	
		(3) 家庭や地域の声を聞く機会が設定されている	B	B		A (B) C D	
		(4) 学校行事を地域の人々に案内し、開放している	B	B		A (B) C D	
		(5) 学校目標方針等は地域のニーズに応じている	B	B		A (B) C D	
2 豊かな心を育む 教育活動の推進	自他の生命の尊さ、人間の尊厳に関わる道徳教育の推進に努める	(1) 個性を尊重し、個に応じた教育や、道徳及び人権教育の推進をしている	B	A	・評価項目2について84%の職員がほぼ達成または概ね達成と回答している。その中で方策(3)が78%の回答であり、評価項目2の中で低い。	A (B) C D	・ルールや協調性の人間形成をたいせつに指導を行って下さい ・教育相談の充実を図り、生徒個々への対応を強化する
		(2) 担任、教育相談係、関係部署で連携し、教育相談の充実を努めている	B	B		A (B) C D	
		(3) 教師・生徒の人間関係の醸成のための教育相談の充実が図られている	B	A		A (B) C D	
3 学習指導の工夫 ・改善・充実に 努め学力の向上	基礎的・基本的事項の指導を徹底し、自ら学ぶ生徒の育成に努める	(1) 生徒を一人ひとりを視座にした基礎的・基本的知識技能習得を図っている（補習・講座等）	B	A	・評価項目3について90%の職員がほぼ達成または概ね達成と回答している。学習指導の工夫・改善・充実に努めた学力の向上にさらに協働体制で推進して行く。(3)は自己評価はAである。	A (B) C D	・単位保留懸念者と、成績上位者の増について継続指導を行う ・専門学校の特性に合った資格取得指導の強化を行う
		(2) 生徒が主体的に学習に取り組むための授業工夫と分かる授業の充実を図っている	B	B		A (B) C D	
		(3) 各種資格・検定の取得を奨励し、専門教育指導の強化を図っている	B	B		(A) B C D	
4 進路指導の充実	進路意識の高揚と個々の生徒への相談充実	(1) 保護者がいつでも進路相談にいける雰囲気のある学校で相談室も入りやすいところである	B	B	・進路室に入りやすいところでも、保護者をどう呼び込むのかが、課題であると思う。	A (B) C D	・進路の意識指導を徹底充実させること ・各種大会等での活躍を、進路指導に結びつけた目標意識の改革を行うこと ・筆記試験等について就職、進学での上位進路実現ができるように指導を行う
		(2) 進路に関して家庭への連絡や適切な情報提供がなされ、本校の卒業時点の進路決定者が知らされている	B	B		A (B) C D	
		(3) 進路情報の収集及び進路相談・個別指導の強化がなされている	B	B		A (B) C D	
		(4) インターンシップの充実と正しい職業観・勤労観の育成に努めている	B	B		(A) B C D	
		(5) 生徒たちの目的意識高揚に気を配っている	B	B		A (B) C D	

※ 評価基準 A:ほぼ達成（8割以上） B:概ね達成（6割以上） C:変化のきざし（4割以上） D:不十分（4割未満）

評価項目	具体的な目標	具体的方策	自己評価		平成26年度の課題等	学校関係者評価	学校関係者からの次年度に向けての要望等
			中間	年間			
5 生徒指導の充実	好ましい人間関係の中で、自ら考え、自主的に判断し、行動できる能力の育成に努める	(1) 学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる	B	B	・評価項目5では79%の職員がほぼ達成か概ね達成と回答。方策(2)が71%の回答であり、評価項目5の中で低い。 ・まずは身なり指導。	A (B) C D	・全体指導に加え、特に2年の身なり指導を重点に行う ・挨拶運動などについて、更なる取組の徹底を行う事
		(2) 規範意識の醸成と挨拶や相手を思いやる心等の指導が行われている	B	B		A (B) C D	
		(3) 生徒たちの行動面の改善指導がいきとどいている	B	B		A (B) C D	
		(4) 全体集会、講話、巡視、個別指導等を通して、基本的生活習慣の確立と心の教育の充実に努めている(凡事徹底)	B	B		A (B) C D	
6 保健・安全及び教育環境の整備	保健・安全指導の充実と施設・設備の安全管理に努め、健康で明るく豊かな自然を守り、花と緑のある学園づくりをめざす	(1) 教育目標にそって校内の施設・環境等に工夫がみられる	B	B	・これからも花いっぱいの学校であるように努めて下さい。 ・保護者として直接関わっていない為、評価しづらいところがある。(1)～(3)を生徒自身はどう感じているか。	A (B) C D	・緑化コンクールの特選受賞と、今後も学校緑化を継続して行っていく事 ・花壇や花だけでなく、教室の美化整備の強化をして行く ・生徒のみではなく、職員の美化活動を活性化する事
		(2) 生徒たちは健康的な姿勢で良くはつらつとしている	B	B		A (B) C D	
		(3) 保健室利用は生徒が常に活用できる状況である	B	B		A (B) C D	
		(4) 安全管理の日(毎月1日)の設定を行い、定期的な安全点検の実施をしている	B	B		A (B) C D	
		(5) 教室内外の美化、花と緑のある学園づくりに努めている	B	B		(A) B C D	
7 特別活動の推進	集団活動、体験活動を通して、自主的・実践的な態度を育成する	(1) 生徒の自主的運営による行事を実施している	B	B	・評価項目7では68%の職員がほぼ達成か概ね達成と回答。方策(1)(2)とも67%の回答であり、課題となっている。	A (B) C D	・学校周辺の清掃ボランティア活動の推進を行う ・地域と連携した美化活動の活性化を図る事
		(2) 学校行事等で帰属意識、公共の精神、社会性を育成している	B	B		A (B) C D	
8 魅力ある学校づくりの推進	各科・コースの特色を明確にし、学校の存在感をアピールする	(1) 中学校への広報活動を充実させている	B	B	・進路担当者との情報交換。 ・資格取得やスポーツ等で一生懸命 頑張っている生徒達を称える為にもその情報発信を積極的に行って頂きたい。例えば、新聞のスクラップコピーの配布、若しくはメール配信等、やり甲斐・やる気の出る発信方法を要望したい。	A (B) C D	・各中学校へ積極的に広報活動を行う事 ・広報活動を推進する組織づくりをし、強化する事 ・中学校教員、保護者対象学校説明会の時期を早めに行う事
		(2) 学校ホームページや校門前掲示板等で広報活動を充実させている	B	B		A (B) C D	
		(3) 特色を生かした教育課程の編成・研究に努めている	B	B		A (B) C D	
9 家庭・地域社会との連携	保護者・地域住民の意向を学校運営に反映させ、開かれた学校づくりをめざす	(1) 保護者・地域住民、学校評議員会の意向を学校運営に反映させ、開かれた学校づくりを進めている	B	B	・PTA評議員会の参加率を上げる為に呼びかけと連絡を密にしていく。 ・大北地域との連携強化。	A (B) C D	・地域連携型のレクリエーション等の企画実施すること ・地域とのさらなる連携を ・地域へできるだけ足を運んで更なる活性化を望む
		(2) PTA評議員会の定期的開催と、地域情報交換会や	B	B		A (B) C D	
10 研究・研修の推進	情報化の推進と計画的に校内研修を実施する	(1) 進路支援システムの活用と事務処理の情報化に努めている	B	B	・評価項目10では96%の職員がほぼ達成か概ね達成と回答。研究・研修の推進をさらに推進して行く。	A (B) C D	・情報化の整備を推進し、充実させる事
		(2) 校内研修の推進と関連機関研修の機会を奨励している	B	B		A (B) C D	

※ 評価基準 A:ほぼ達成(8割以上) B:概ね達成(6割以上) C:変化のきざし(4割以上) D:不十分(4割未満)